

## 秋田県の心の健康づくり・自殺予防対策の取組（平成19年度）

自殺予防対策に関する研修や地域の実情を踏まえた自殺予防に取組を推進するほか、自殺者の遺族や自殺未遂者などへの支援を強化し、自殺者の減少を図る。

平成19年度新規事業

- 1 自殺予防対策の普及啓発  
『あきた新時代7月号』  
テレビスポットの放映  
市町村における啓発事業等の実施  
新市町村トップセミナーの開催
- 2 自殺予防対策の相談体制の充実  
フリーダイヤル相談の実施  
ふきのとうホットライン(相談機関)研修会  
新あきたいのちのケアセンターの設置  
遺族、自殺未遂者の支援を目的に精神保健福祉センターに設置（相談員3名）  
新相談担当者の研修  
市町村、民間団体等担当者の電話相談のスキルアップ
- 3 地域振興局と関係機関で構成する自殺予防ネットワークの拡充  
自殺予防ネットワーク会議、研修会等
- 4 自殺予防対策モデル事業の拡大  
継続 3市（能代市、鹿角市、北秋田市）  
新規 15市町村（横手市、にかほ市、仙北市、五城目町、羽後町、秋田市、大館市、男鹿市、湯沢市、潟上市、大仙市、上小阿仁村、三種町、八峰町、大潟村）
- 5 ボランティア・住民団体等の育成及び活動支援  
北東北三県活動団体交流会  
民間団体（秋田いのちの電話、蜘蛛の糸等）活動支援
- 6 うつ病対策  
うつ講座（各地域振興局）、うつ家族教室、一般臨床医・看護師研修会の開催

自殺者の状況（県警調べ）

平成19年1月～11月 392人（平成18年同期 471人 79人）  
（平成17年同期 438人 46人）